

令和5年度第1回鏡野町総合教育会議 議事録（要点記録）

1 日 時 令和5年12月1日（金曜日）
午前9時30分開会 午前11時48分開会

2 会 場 中央公民館 第4会議室

3 出席者 町長 山崎 親男
教育長 武本 吉正
教育長職務代理 石原 昭和
教育委員 佐古 庸二
教育委員 小椋 潤二（途中退席）
教育委員 宗川 万喜子
教育委員 赤松 幸子

（事務局関係）

総合政策室長 瀬島 栄史
学校教育課長 黒瀬 豊
学校教育課長代理 忠政 善貴
学校教育課長代理 瀬島 道子
学校教育課主幹 奥 博之
生涯学習課長 小原 克則

4 協議事項 （1）大野小学校の教育環境のあり方について
（2）令和6年度 教育基本目標・基本方針について
（3）中学校部活動の地域連携について
（4）学校情報機器等の整備計画について
（5）総合文化施設・図書館の指定管理について
（6）社会教育施設の整備について
（7）その他

5 会議の経過及び発言

○開会

○山崎町長挨拶

○武本教育長挨拶

○協議事項

発 言 者	発 言 の 要 旨
瀬島室長	最初に「大野小学校の教育環境のあり方について」学校教育課から説明願います。
黒瀬課長	資料をご覧ください。令和5年度の町総合調整会議におきまして、大野小学校の建築について協議を行いました。その結果として、対案を考えて再度協議が必要となっております。指示事項としては、財源確保について精査し、対案として建替・増築・移転新築を考えるととなっております。鏡野町立小学校の教育環境のあり方検討委員会の答申と町の方針では、令和10年度の開校を目指すとなっておりますが、財政面の問題もあり進んでいないのが現状であります。昨年度開催の総合教育会議資料、あり方検討委員会答申と町の方針について、新校舎建設後、大野小学校、香々美小学校（香北小学校含む）を新設統合するとあり、新校舎は場所の決定、設計、造成、建築に係る期間を経て、令和10年度の開校を目指すとなっております。令和5年から用地選定・農振解除申請が必要となっており、令和6年度から9年度に事業を進め、令和10年度の開校を予定しているところです。教育委員会といたしましては、このあり方検討委員会の答申に基づき、財政面では大変厳しい状況ではありますが、答申通りでお願いしたいと考えております。参考資料として、令和6年度から10年度の大野小学校と香々美小学校の児童数、学級数推移を記載しました。統合案の香々美小学校を含んだ大野小学校の児童数、学級数推移、最後には大野小学校の校舎配置図と全体配置がありますので、ご覧ください。説明は以上です。
瀬島室長	大野小学校の教育環境のあり方について説明がありましたが、何かご質疑、ご意見等ございますでしょうか。
武本教育長	昨年度の総合教育会議での協議結果、指示事項等を踏まえた進捗状況を説明いただきました。スケジュールでいけば用地選定をして、農振解除等々、必要な処理を進めていかなければ令和10年度の開校は間に合わない流れになっていきますが、昨年の中での、病院建設等々の関連もあり一度に事業が進めにくいということがあったと思います。そうした中でも町の学校のあり方としては予定通りの開校を目指したいと聞いていますが、その財政的な部分を含めた今後の進め方についてすり合わせが必要と思いますので、今後の見解がありましたら説明いただければと思います。
瀬島室長	財政の方から申し上げますと、現在、建築物価が非常に高騰しております。コロナ前と比べて約1.6倍というデータも出ており、現在進めている病院建設についても難航するのではないかと想定されております。そうい

	<p>った中、今年度8月の台風7号による災害等でも予期せぬ出費が増えたことがあり、財政的にはかなり厳しい状況が続くものと思っています。また、今年度から立地適正化計画という国土交通省の関係計画を策定して、それに基づいて補助金をいただくよう進めているところです。施設の整備について10億単位での補助金が助成されますので、新たな事業も可能になると考えています。都市計画区域内であること、災害の恐れがある箇所での整備はできない、人口維持の方策が必要であるとか要件が必要になりますが、その辺りもクリアしていくよう現在調整をしております。</p> <p>先程教育長も言われました、学校教育環境のあり方において、大野小学校の建替・統合については、財政的な面もあるということで総合的に判断しますと答申通りに進めていくのはかなり厳しいというのが、意見です。</p>
山崎町長	<p>やはり今の厳しい時を乗り越えることも考えなくてはいけない状況で、他の場所に新校舎を建設することを考えていましたが、放課後児童クラブを建設して間がないこともあり、そのことを考えれば、今の校舎を部分的に広げ、必要な物件を増築することも協議の中に入れていく必要があると思います。また、出生率について大体100人ぐらいで推移していましたがコロナ禍もあり減少しております。香々美小学校との統合は時期が遅れるのではないかという見解もあり、皆様方の意見をいただきながら、統合に向けて進んでいきたいと思っておりますが、かなりのスピードで物価が上昇しております、適当な時期がなかなか見出せておりません。</p>
石原教育長代理	<p>先ほどの国交省補助金には要件があるということですが、大野学区で例えば新築する場合に、都市計画の区域でなければ駄目、安全でないといけない地域ですという、それに対して今の学区は大丈夫でしょうか。</p>
瀬島室長	<p>円宗寺は全域が都市計画区域に入っているのです。</p>
石原教育長代理	<p>例えばその交付金は学校建設にも利用できるということですか。交付対象にはなり得るということですか。</p>
瀬島室長	<p>はい。病院・教育施設・福祉施設等には活用できるということで、国交省の要綱で決まっています。</p>
石原教育長代理	<p>補助金の話はわかりました。それが活用できて補助率が高いのであれば何とかそれで計画通り進めていけるという思いがあります。</p>

武本教育長

先ほど町長が言われたように、今年度から香北と香々美小学校を統合し、令和 10 年度を目途にさらに大野小学校と統合という話の中で、地域、保護者の皆様にご理解をいただいています。財政的に難しいことは理解をしなければならない部分もありますが、統合するにあたっては前年度から複式学級の解消をしてまいりました。今の状態でも普通なら複式学級ですが、統廃合加配ということで教員を増員していただける体制を作っております。ただ、来年度以降も確実に複式学級の編成になる状態ではありますが、単複の繰り返し、変則複式という状況の中で、その辺の手立てをし、県の教育委員会とも相談しながら、複式を回避する話をしているところです。統合が 10 年度を外れるような状況になれば、まず県は教員加配の手当をしてくださいません。次年度に教員をカバーしていきたいと思っておりますが、それ以降は難しいことが想定されます。子供達の教育環境のあり方として、複式は回避したい思いを持っておりますので、検討材料の一つとして進めなければならないし、お願いしたいと思っております。

令和 10 年度の児童数を見ても香々美小学校は 40 人で厳しいと思えます。ただ、奥津小学校も同様の人数で推移していくという想定があります、北部地域を残す必要があるという命題の中で進んでいることも検討の参考にしていただければと思います。

現実的な話に戻しますが、町長が言われたように、今の施設で対応していくということです。統合しなければ今の大野小学校で最高 11 学級が想定されます。11 学級なら小学校を改築して対応できますが、香々美小学校が統合するのであれば確実に 14 学級が必要になるので、今の状態では収まらず、増築が必要になってきます。また、大野小学校はグラウンドが狭いということで、この問題は避けて通れません。これからの小学校のあり方として、もうプールは必要ないだろうという考えが増えてきています。大野小学校はB&G海洋センターの利用が検討できると思っておりますが、学校とのお話では、プールが必要だという思いを持っておられます。町としては、年間何時間使うのかという状況の中で、多くの労力と費用も集中していますので、学校のあり方の検討の一つになろうかと思っております。もし増築するのであればこのことも含めて検討が必要です。まず、何らかの方向性を示して、形作りをしていかなければならない思いがあります。

瀬島室長

教育長から色々ご意見をいただきまして、現在の大野小学校それから香々美小学校との統合を考えると、方向性を示すは緊急の課題です。これに対して増築も視野に入れるということです。ただ、大野小学校はグラウンドが非常に狭いが児童数は多いので、グラウンドを潰すというのは現実的ではないと考えます。その中でどのようにしていくかご意見をいただければ、事務局で検討し具体化していけると思います。

武本教育長	<p>教育委員会としては、令和 10 年度に大野小学校も統合したいということで説明させていただいた訳ですが、これについて町の話の踏まえると現実的ではないということです。つまり、令和 10 年度の統合は今の時点で諦めざるを得ないと言われていると理解しております。</p>
黒瀬課長	<p>あり方検討委員会で方向性が出ておりますので、地域に対して方向性が変わるという説明を行っていかなければいけないと思います。</p>
武本教育長	<p>いずれにしても地域・保護者の方には進捗状況を、その中で統合延期や方向転換という話なのか、その辺りをお伝えしなければならないと思っています。ただ、方向転換していくかどうかも含めて、財政事情で方向性をお示しできないのか、説明できるようにしておく必要があると思います。</p>
石原教育長代理	<p>財政が厳しいという状況が今の話で分かりました。病院建設でも費用が 1.6 倍ぐらいなるだろうと。そうすると自ずと小学校新築や増築の建設費は増えるということですが、教育委員会とすれば、移転新築が望ましいというあり方検討委員会の答申でもあります。それを進めていただくのが一番第一義だろうと思いますが、増築とか建替の方向になるとしても、統合年度を先延ばしというのは考えない方がいいと思います。指示事項の中でも対案として建替・増築を考えるとあり、町長も放課後児童クラブを移転したくないということだったと思いますが、新しく用地を確保するのが大変厳しいのならば増築を考えざるを得ないが、ゴールはあくまで変えないことが、まず決定しないといけない事項なのではと思います。</p>
瀬島室長	<p>令和 10 年度の統合を先延ばしするのは良くないというご意見です。先ほど教育長も複式学級が解消できるのは令和 10 年度統合ということだったと思うので、それが無くなるとまた複式に戻ってしまうということです。10 年度に統合となりますと、大前提としての令和 5 年度時点での用地確保もできていないということで、移転新築はかなり難しくなると思います。</p>
佐古委員	<p>住民感情としては、答申を元にして香北は 10 年度には新しい学校ができてそこへ行くのだと。それから香々美小学校もそのつもりでいると思います。今の校舎を使って増築する話は住民の方は知らないと思います。新しい場所に新しい学校ができるから統合しても仕方がないという香北の方の感情ではないかと。香々美小学校の方も。それを前提に統合が進んでいる今、住民、保護者の方に説明して理解していただくことはかなり難しいのではないかと。財政的に厳しい状況でも、10 年度にならないかもしれないけど、新築で統合する方向は進めた方がいいという思いが強いです。</p>

瀬島室長	他の委員さんからのご意見はございますか。
赤松委員	<p>今までの流れでいくのかと思っていたので難しいところがありますが、何回も開いて検討委員会をした結果は非常に大きいものがあると思っています。それから大野小学校の立場から考えた場合に、例えば増築になって運動場が狭くなり、プールがB&Gの方に行くというのは、大野小学校の子供たち、親にとっては統合のメリットをどのように考えられるのか、そこら辺が理解していただけるというのは、先ほどの意見と同じで、疑問というか、難しいという気持ちは持っております。</p>
宗川委員	<p>保護者の立場としては、10年度に向けて自分達の子供が大きくなって、そこに行くだろうと思っています。先日も香々美小学校に行って、様子を見ながら子供達が馴染んできたという状況を見てきました。もし新たにそういう進め方をされるのであれば、このあり方検討委員会が出た意見は、新たにすり合わせ吸い上げていくことをしていただきたいと思います。</p>
瀬島室長	<p>先延ばしをしない方がいい、住民の方の感情、それから大野小学校の学区の方はメリットが感じられない、あり方検討委員会で検討した内容が反故にされるのはおかしいということで、また意見を吸い上げ直すというようなご意見もいただきました。</p>
山崎町長	<p>大野小学校グラウンドが狭いというのは前提で考えていまして、増築ということになれば、グラウンドの環境をあれ以上狭くしない方法を考える。先ほど説明した通り、コロナ禍の影響もあって全国的に出生数は減っているが、大野に限ってはそういう環境にないと静観しております。</p> <p>ただ、現実問題、物価高騰は避けて通れず、これを注視する状況になっています。それでも、病院建設は進めているという状況であります。大野小学校の環境のあり方についても時間が必要だと思いますので、具体的な材料を突き合わせてこの件だけの会議を希望しますが、どうでしょう。</p>
瀬島室長	<p>総合教育会議ということでお集まりいただきましたが、慎重に審議すべき案件だと思いますので、また別機会を設けさせていただいて、これに特化した会議を開催したいと思います。</p>
山崎町長	<p>10年度を目指していくところが変わりなくということで。ただその考え方を決定するにあたって、対案を用意してからそれだけの会議の場を設けていただきたいと思いますので、よろしく願います。</p>

瀬島室長	<p>学校教育課でも新築移転をした場合、財政的なことはもちろんですが、それ以外の問題等があることも考えられますので、色々な対案でのメリットデメリットをまとめて次回に臨んでいただければと思います。</p>
石原教育長代理	<p>10年度というゴールは今日の段階では変えないということだけは、最低限確認が必要なのではないかと思います。進める方向性に特化した内容で、次回の会議を今年度中に開催するということです。</p>
瀬島室長	<p>それだけの会議を再度開催ということで調整させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
山崎町長	<p>次の会議までは、10年度統合のままでの方針でいきます。 それでよろしいか。大事なことですので慎重に扱いたいと思います。</p>
瀬島室長	<p>それでは2番目にいきたいと思います。「令和6年度教育基本目標・基本方針について」学校教育課から説明願います。</p>
黒瀬課長	<p>資料をご覧ください。10月の定例教育委員会におきまして、協議事項として、令和6年度の教育基本目標基本方針案について、教育委員の皆様にご協議いただきました。本日晒しております令和6年度の教育基本目標・基本方針につきまして、総合教育会議でご承認をいただきましたら、12月の定例教育委員会の議題として提出したいと考えております。令和5年度の教育基本目標は「自立と共生を基に心豊かな教育の推進」です。令和6年度の教育目標としては、「夢を持ち ふるさとを愛する心を育み 自ら生き抜く力を拓く人材の育成」に変更したいと思います。詳細説明として、教育委員会は、幼児教育、学校教育、社会教育において、文化・スポーツほか幅広い分野にわたって教育行政を推進することにより、自発的な意思に基づき、生涯を通じてあらゆる機会に学び続ける、創造的で人間性豊かな人材の育成を目指しますとしております。下の基本方針をご覧ください。令和5年度は、「家庭・地域の教育力の向上と知・徳・体の調和の取れた教育の推進」となっております。令和6年度は、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進に向けた家庭・学校・地域の教育力の向上」に変更させていただきたいと考えております。その下の説明でございます。(1)から(4)まであります。(1)「確かな学力」の定着を図り豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します。自立しながら共に生きる子どもを育てるため、発達段階に応じた指導・支援体制の充実を図り、確かな学力の向上と、豊かな心と健やかな体を持つ子どもの育成を進めます。また、子供達が安心して学習できる環境づくりを行います。(2)として、人権尊重を基本に心豊か</p>

な生きがいを育む学習を推進します。道徳教育で人権尊重を育み、家庭・地域の連携で町民が学びを通じて、自らの成長と自己研鑽を図り、町民相互が活かし合っている社会の実現に向けて充実を図ります。(3)として、文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。町民が文化に親しみ、文化を創造し、文化活動に参加できる環境づくりに取り組むと共に、子供達を始め広く町民に活用される文化施設の充実と郷土学習を進め郷土愛を育むよう努めます。生涯学習の場を提供し、歴史上価値のある文化財の保護とその活用を図ります。最後に(4)です。町民の体力向上や心身の健康増進に向けたスポーツ活動の推進をします。誰もが生涯を通じて健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、生涯スポーツの機会の提供や活動を支援する体制づくりに取り組みます。また、スポーツ協会などの関係団体や競技団体と連携を深めるとともに、公民館、体育施設、公園施設等を活用し、誰もが気軽に取り組めるスポーツの普及を図りますとしております。説明は以上です。

武本教育長

何度となく協議いただいて、本日の資料になっております。本件につきましてはご承知の通り、昨年度本会議におきまして、提案しご承認をいただいた中で進んだ案件ですので、6年度には昨年度お受けいただいた内容をもって、基本方針とさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

瀬島室長

教育委員の皆様には既にご協議いただいたこともあります。昨年度からの流れでございますので、改めましてご意見がありましたら承ります。

山崎町長

鏡野町の強みとしては14年間続いている町民アンケートがございまして、教育部局からも各課横断的に、アンケートで町民の意見を聞き及んでいますけど、それを基本目標・基本方針に落とし込んでいるというところをお示し願います。

黒瀬課長

この基本目標・基本方針の決定につきましては、「夢を持つこと」「ふるさとを愛すること」「自ら進んで何事も進めていくこと」という三つのキーワードを持って作成しております。町長の言われた、町民アンケートの意見については、ここには反映してないと思っております。

山崎町長

私が言いたいのは、委員の皆様にも、教育関係のアンケート結果から方向性の可否の判断をしたり、意見を町政運営に反映させていることを知っていただきたいということです。例えば、最下段に公園が出ています。これは町民アンケートで、子供を安心して遊ばせる場所はないかという意見

	<p>が出て、多目的公園に結びついている。これが、町民にアンケート結果が返されている、私の考えが行政の中に生かされていることを実感していただいている。町民は鏡野町の行政の進め方を本当に見ておられる。教育環境はそういうところで反映していると思う。それが反映されていなくても、こういう意見をいただいているということを委員の方にお示しをして、来年度の目標を掲げる時に見ていただく必要はあると思います。</p>
<p>瀬島室長</p>	<p>アンケートの結果について、学校や園を支援する活動をしたいかどうかという設問がありまして、半数以上の方が学校や保育園等の活動に協力をしていきたいと回答をいただいていますので、地域の教育力には繋がっていると感じております。そういう活動をしたい方がいらっしゃるということです。また、スポーツにつきましても、運動する機会があれば参加したいというご意見もいただいております。参考までに申し上げました。</p>
<p>石原教育長代理</p>	<p>先ほど町長が言われた中で、町民アンケートをこの基本方針に反映するという点について、全ての町民アンケートを反映するとは言い難いですが、吸い上げる部分もあるだろうと考えております。基本目標・基本方針の目標設定という部分では3本立ての目標で進めたい、かなり練ってここに落ち着いたということです。この基本目標・基本方針でよければ、それに対しての重点課題を出していくことになると思います。</p>
<p>山崎町長</p>	<p>これでいいと思います。ただ協議の中で、是非こういう評価もありましたというのを反映してほしいと思います。1000人の方にアンケートして、結構高い回収率です。前回は49.5%、最高は60%ぐらいですかね。14年間続いているということ、さらに政策にも感化を受けて評価をしております。</p>
<p>瀬島室長</p>	<p>その他ご意見無いようですので、これで採択とさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、3番の「中学校の部活動の地域連携について」学校教育課から説明願います。</p>
<p>瀬島課長代理</p>	<p>(3) 中学校部活動の地域連携についてです。鏡野中学校部活動の現状については、現在、常設部活動は運動部が11、文化部は2つございます。特設部活動として3部ございます。生徒数が年々減少していく中で、クラス数も減少し、顧問を持てる教員数も減少しています。安全管理による複数顧問制をとっておりますので、現在の16部を令和6年度の定員予定数で考えますと、無理が生じてまいります。</p> <p>2番の部活動の地域移行に向けてですが、今年度中学校では保護者宛に</p>

周知を図り、現小 5・6 年生児童・保護者宛に部活の希望調査を行い、教職員を対象としてアンケートや部活動削減に向けての研修及び意見交換等が実施されました。現在、部活動指導員の増員を要望されておられます。

3 番としまして、教育委員会としては、地域連携検討委員会を 2 回開催し、情報共有や地域における受け皿についてヒアリングをしてまいりました。まず、スポーツ少年団は、全体的には 9 割の部が受入可能となっております。懸念事項としては活動時間の違い、生徒・保護者への負担が増えることが言われました。スポーツ協会は、全体的に 6～7 割程度の部が受入可能とお返事をいただきました。懸念事項として、日常練習は個人でしている、構成員の多くが仕事をしている、部活動の時間に合わせる事が難しい場合が多々あるというご意見がありました。文化協会は、全体的に 5 割の部は受入可能ということです。懸念事項として、活動時間や場所、送迎などがクリアできるか。情報が少なく、文化関係の部に興味のある学生がどの程度いるのかという意見がありました。これについては、これから中学校等で生徒達に調査をしていきたいと思っております。

4 番、今後の取り組みについて、部活動の削減も視野に入れた説明を教員や生徒・保護者の方々へしていかないといけないことがあります。次に、休日の部活動移行に向けて、部活動毎に方向性を検討し、丁寧にコーディネートしていく必要がございます。現在、検討委員会です承を得て、野球部を地域連携モデルとして、地域移行に向けたすり合わせを始めております。今後話がまとまり次第、各所へ連絡が必要となっております。課題ですが、現在想定されるだけでも指導者への謝金、活動時間、場所、送迎・移動手段、物品・用具、鍵等の管理、保険の加入など多岐に渡ってまいります。こうした点を部活動毎に調整を図っていくことに時間がかかり、この部分に専門人材が必要であると考えております。部活動指導員の配備につきましても、令和 6 年度当初予算で要求をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

武本教育長

先ほど検討委員会の話が出ましたので、検討委員会の委員長を赤松教育委員にお願いをしております。赤松教育委員から説明への補足等を、委員長の思いも含めてお話いただければと思いますので、よろしいでしょうか。

瀬島室長

ここで一度休憩を入れたいと思います。50 分に再開といたします。

～ 休 憩 ～

再開させていただきます。赤松委員からご発言をお願いいたします。

赤松委員

概要につきましては先ほど説明があった通りでございます。検討委員会として課題が山積してございまして、手探り状態で前に進めようと協議をし

ているところです。通算して4回目の時に、具体的な受け皿の協議が始まった状況にあります。受け皿への協力の意思表示をたくさんいただいてありがたく思っております。ただ、協力の意思表示をいただいておりましても、例えば、スポーツ協会は社会人を対象にした活動であって、活動時間が日中や夜間が多いとか、指導者がいるとは限らないという問題があります。スポーツ少年団も主に小学生を対象としておりまして、中学生とはレベルが違うからどうやって活動しようという思いもお持ちのようでございます。それから文化協会は日中の時間に活動されているところが多い。しかも高齢者の方が非常に多いため、学校の放課後の時間帯に移れるのか、年齢的にも持続可能かという心配をお持ちでございます。

もう一点は、大会に参加する場合に、大会役員や引率という点も関わりますので、現実的に可能かどうかということになりますと、様々な調査を行っていかねばならない状況です。

それから受け皿に対して協力の意思をいただいた活動グループから、移行に協力するとしても、まだ具体的な内容や方向性ははっきりしていないのか、受け入れる場合に町からのサポートやバックアップがあるのだろうか。また保護者の方からは受益者負担や送迎の心配とかそんなお声も聞いていますので、その点を付け加えさせていただきます。

二つ目ですけれども、現在、学校部活動は学校教育課と学校が、地域活動は生涯学習課と団体が連携をとっている状況にあります。実際には互いの接点が少ない中、二つの課が前に進めようとして取り組んでいる状況ですけれども、今回の地域移行というのは、子供達の成長に重要な活動の場を地域に作る。鏡野町の実情に合った地域クラブ活動等に移行するということですので、鏡野町として新たな地域活動の形態を作り上げていく作業になると思います。それぞれ取り組んでいる学校、地域、検討委員会等ありますが、これから先、大学や企業とか他地域にも働きかけをする必要があるかもしれません。縦と横をうまく繋いで総合的に取りまとめて、見通しを持って計画的に移行を進めて軌道に乗せるまでには、人員や人材が非常に重要になるのではないかと感じています。

最後にもう一つ、関係者や町民への周知についてです。地域移行については、関係者や町民にしっかりと知っていただいて、これから先、長い間理解を持って協力を得ることが大切になると思います。そのためには、鏡野町における地域移行の意義、スポーツや文化環境の将来像、見込まれる効果を考えて皆さんにお示しすることが肝要になってくると思います。

私としては町長の考えを聞かせていただいて、検討委員会を進めていきたいと思っておりますので、機会を設けていただければ大変ありがたく思います。

瀬島室長	赤松委員から、課題や今後に向けての取り組み、町と委員会との連携が必要ではないかと発言をいただきました。また、地域の方にご理解いただけないと長続きしないということ。生徒への効果等についても、町がビジョンを持って進めていく必要があるということでした。委員から町長の意見を伺いたいとのことでしたが、別機会ということによろしいでしょうか。
赤松委員	もちろん別の機会で構いません。時期が変わればもっと膨らんだ話とかお気持ちを伺えると思いますので、検討委員会にもお伝えするなりして方向性が決まっていくと思っております。
瀬島室長	最初の説明の中で、昨日委員会があったという報告がありましたので、その内容を町長に伝えていただき、改めてまた場を設けさせていただければと思っております。
山崎町長	一昨日、全国町村会の役員会があり、その場でも懸念材料の一つでした。市は3万人以上の人口がいて、選択肢はたくさんあるけど、町村では選択肢が少ない。ですから、どの町村も苦労されています。中学生の部活の延長線上に社会人が入って教えられる環境は様々にあるけど、その中で問題が生じてくる、誰が責任を持つのかはそれぞれ違うので、相対的に処理できないと、このように思っております。部活を個別に分けていかないと、一辺倒のやり方では長続きしないのではないかと思います。
赤松委員	パターンは色々考えなければいけないと思いますし、地域に合わせた移行を進めるということです。中学校での部活動の意義は結構大きいものがありまして、人間の成長に関わることですけれども、部活動がなくなることはそういう機会が失われることです。こういう活動をしてみたいという趣味を1週間に1回や2回するとか、大会に出たいとか色々な方向性が出てくると思います。それらを検討委員会でも相談しながら、今までの部活動そのものを地域移行するのではなく、色々なものを仕分けして、子供達の豊かな人生に関わるような部分を少しずつでも思っております。
山崎町長	学校教育ということであれば、授業が終わった後が部活動ですけど、社会環境は17時半まで仕事してからの時間というところ。学校施設の使用の問題があるでしょうし、社会人に合わせるならば、場所が限定されることになるのか、色々なことがあります。少なくとも教員の中で子供達を教えたいという市もあるわけで、契約を結んで指導していただいていることもあります。教員の中でも働き方改革の中で色々取捨選択ができると思っておりますが、希望があり書類を出して認められればそれはいいのですよね。

瀬島室長	業務に支障がないということであれば認められます。
山崎町長	<p>教員に働きかけることもできると思いますし、様々な考えを突き合わせていく。問題は子供達がすくすくと育つ環境を社会が認めて、お互いに協力し合い目的達成のために頑張りましょうということですから、多少の無理はあろうかと思いますが、話し合いをさせていただきたいと思います。</p>
瀬島室長	<p>その他の委員さんから何かご発言ございますか。よろしいですか。3番の中学校部活動の地域移行についてはこれで終わりたいと思います。</p> <p>続きまして(4)です。「学校情報機器等の整備計画について」学校教育課から説明願います。</p>
奥主幹	<p>お手元の資料をご覧ください。令和5年度で承認いただいた計画から、タブレットを用いた授業等活用がされておりますので、その点を踏まえて6年度の計画として変更する部分をお示ししたいと思います。</p> <p>6年度計画について、変更点を説明いたします。まず無線LANの整備については、平成30年度に整備した機器の更新を計画しておりました。令和6年度においては、機器の更新ではなく新たにGIGAスクール専用のアクセスポイント、機器を整備し、無線LANのネットワークを切り分けることで授業通信の安定化を図る。ネットワーク負荷の分散を図ることで整備を行い、以前のもも併用していく計画を考えております。</p> <p>続いて校務用PCについて、平成30年に整備した機器更新を計画しております。Windows10というOSが、令和6年10月にサポート終了することから、更新を図りたいと考えております。台数については185台全体ではなく、必要な端末に限って更新をするため、85台を計画しております。</p> <p>続いてPC教室でございます。平成30年に整備したものを更新せず廃止することを考えております。ただし授業でパソコンが必要であるものについては、校務用PCを初期化して授業に転用するように考えております。</p> <p>続いてプリンターについては令和5年通りの計画で進めていきます。</p> <p>続いてプロジェクターとマグネットスクリーンについては、平成30年に整備したものを更新する計画としておりました。しかし、現在は電子黒板装置が授業で使用する機器としては有用であることから、更新をせず普通学級分の電子黒板の整備を考えています。それに伴い、紙教材を表示する書画カメラを、普通学級分整備したいと考えております。</p> <p>続いてデジタル教科書については、令和6、7年度において更新を行う計画としておりましたが、今年度補正予算で小学校教科書改訂分の更新を行いますので、中学校分については令和7年での更新を予定しております。</p> <p>続いてタブレットについては、令和2年に1070台の整備を行い、令和7</p>

年度が更新時期になります。全台を更新すると多額の費用がかかるため、基金積立金を充てる検討をしておりました。タブレットについては文部科学省の国庫補助金を利用しての更新を考えております。時期としては令和7年を1年先送りにして、令和8年度での更新を予定しております。

次は、各年度の整備費の状況を表にしたものです。令和6年から8年度の3ヶ年総額については1億4628万9550円となりますが、このうちタブレットの国庫補助金は、2943万円の補助が見込めます。また町費では、基金を令和7年度まで積立した場合には8000万円でございますので、単年度の負担額としては3600万円程度と見込んでおります。またタブレットの更新につきましては、令和2年度整備分について、廃棄処分ではなく有効活用を検討しております。例えば、一部は学校の予備機として保管、後は業務利用への転用を模索しています。説明は以上でございます。

瀬島室長

ありがとうございました。補足等はございますか。(補足無し)
整備計画を予定していることで、報告とさせていただきます。
続きまして(5)です。「総合文化施設・図書館の指定管理について」生涯学習課からから説明願います。

小原課長

総合文化施設及び町立図書館の指定管理につきまして、ご報告をさせていただきます。

令和5年11月10日に指定管理候補者の選定委員会を行いました。応募は1団体で、TRC・合人社田園文化創造パートナーズという団体から応募がありました。これは(株)図書館流通センターと(株)合人社計画研究所との共同企業体になります。図書館流通センターは玉野市を始め、全国582館の図書館を運営しております。合人社については県内では岡山リサーチパーク内建物の指定管理を受けており、どちらも実績は豊富なところ です。

主な提案内容としまして、現職員、会計年度職員については継続的雇用を重視するという事。それから、今休館になっている祝日を開館とすること、18時閉館時間を19時まで延長したいことなどの提案をいただいております。また、学校図書室とか地区公民館等との連携を今以上に拡充させたい思いを持っておられました。選定委員会で審査し、候補者として決定されておりますので、12月議会で承認された場合には、この団体が指定管理者ということになり、来年4月からの鏡野町総合文化施設・町立図書館について管理を行っていくという流れになります。以上、ご報告です。

瀬島室長

委員の皆さんからご質疑等ございませんでしょうか。

山崎町長	町民アンケートの中で図書館に対して、祝日や月曜日に開けてもらいたいという要望があり、その意見を反映していることを補足します。
宗川委員	図書館の指定管理移行ということで、色々なことを望んでいいのかと思いますが、子供達を色々なところへ受け入れるということの一つとして、図書館の利用があると思います。鏡野中学校の生徒達が図書館を利用して勉強をしています、その姿を見られている方もおられると思います。子供達が学習する場やタブレットを利用しての学習で活用できるように、勉強だけでなく子供達が安心できる居場所というような活用の方法をしていただきたいと思います。
武本教育長	どんどん使っていただければと思います。
瀬島室長	開館時間も長くなり、祝日の開館もされるということになりますから、利用される方は増えると思っております。
山崎町長	図書館の利用というのは町村であり方が違って、民営化することで色々なことが可能性としては出てくると期待しており、町民の多様性に応えるという点で利用する側にとっては非常にいい環境だと思います。
瀬島室長	町民アンケートでは図書館に関して色々な意見をいただいております。館内を明るく開放的な空間にしてほしいという意見をいただいております、令和4年度に改修を行い、照明をLED化しております。蔵書については、毎年600万円程度の予算で新しいものを随時更新しております。今後は図書館流通センターも関係されるということで、図書の選考が充実するものと思っております。また、親子での読み聞かせができるスペースがあるといいという意見もありますが、これも令和4年度に改修済みでございます。以上が直近でのご意見となっております。
瀬島室長	その他ご意見等は無いようですので、これで5番目は終わりとさせていただきます。それでは(6)の「社会教育施設の整備について」生涯学習課から説明願います。
小原課長	<p>お手元の資料をご覧ください。社会教育施設の整備について、生涯学習課では令和2年度に所管する49施設の調査をしまして、改修が必要な施設をランク分けし、計画的に改修を行っております。</p> <p>まず近年改修を行った施設、今後予定の施設を挙げております。黒塗りの箇所が改修を完了している施設で、奥津町民体育館からB&G海洋セン</p>

ターまでが、今年度改修・新築、実施予定の施設になります。

次が令和6年度の実施予定施設で、歴史資料館・伝習館の取り壊しと公民館4館の改修工事を行います。また、修繕が必要な箇所についてはその都度検討していきます。現時点ではこのように進めております。

次のページが都市公園の整備ということで、竹田地内に仮称多目的公園として公園を整備しております。これが令和6年3月末には竣工する予定となっております、12月議会で都市公園条例制定を提案しているところです。令和6年4月には全面供用開始ができる見込みとなっております。公園の名称については、まだ案ではございますが「鏡野ふれあい運動公園」ということで考えております。

それから次が今年度改修工事を行っている香南公民館と奥津町民体育館の図面です。両施設とも工事は順調に進んでおり、工期内の検査が可能という流れでございます。以上で説明を終わります。

瀬島室長

社会教育施設の整備状況についての報告です。都市公園については、今整備中で遊具の設置等も既に完了しており、今後舗装工事や雑工事が行われる予定でございます。来年4月に供用開始で式典も考えています。B&G海洋センターについては、照明のLED化を進めております。以上です。

小原課長

歴史資料館と伝習館については取り壊しますが、羽出の公民館前に資料倉庫を建設しております、それができ次第、伝習館と歴史資料館にあるものを運び込んで取壊工事に支障がないようにしたいと思っております。

瀬島室長

委員の皆様から何か質問等ございますでしょうか。無いようですので、(6)社会教育施設の整備については以上とさせていただきます。

その他ございませんでしょうか。ないようですので、これもちまして令和5年度第1回総合教育会議を終了します。大野小学校の教育環境のあり方につきましては、継続協議となりましたので、日程調整をさせていただきます、ご協議いただく機会を設けたいと思いますのでよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(散会)

令和6年1月5日

議事録署名人

鏡野町長

鏡野町教育長